

## **一般質問 「タブレットパソコンを使用した授業の効果について」**

**【質問者 7番： 議員7】**

議長のお許しをいただきましたので、発言通告に従い、質問いたします。

タブレットパソコンを使用した授業の効果について教育長にお尋ねいたします。

岐阜市の小中学校では、現在、電子黒板、デジタル教科書を使用した授業が定着し、子どもたちも興味を持ちながら授業を受け、大変に効率のよい素晴らしい教育機材であると感じました。また、導入当時、先生の中で使いこなすのに差が出ないかという懸念がありましたが、今ではほとんど問題がないと聞いており、子どもたちの学力向上には欠かせないツールであると思います。

**【質問者 8番： 議員8】**

岐阜市では、教育の未来を考え、タブレットパソコンを使用した授業が、小学校では芥見東小学校、中学校では藍川東中学校で、平成26年度施行されました。

タブレットパソコンを使用する授業には、やはり期待と不安があります。全国の先生から寄せられた意見には、期待に関しては、「デジタル教科書が使えると便利」「実験・実習などのデータ整理に力を発揮する」「各班の予想や結果をクラス全体で共有できる」「交流意見や情報収集が素早くできる」「カラーで資料を送信でき、保管も楽」などの意見がありました。

**【質問者 9番：**

**議員9】**

一方、不安に関しては、「成果ある実践実例じっせん じつれいなど最新情報を知りたい」「個人持ち用いちげん かんりなので一元管理できるか」「個人購入こじん こうにゅうとなったとき、親の理解が得られるか」「機器ききに振り回ふされる学習まわとなつてはしまわないか」「故障こしょう、破損はそんした場合の費用だれは誰が出すのか」「タブレットに頼り過ぎたよ すて想像力が育たなくならないか」などの意見がありました。

そこで、教育長に3点お尋ねいたします。

1年間タブレットパソコンを使用した授業を行い、どのような効果がありましたか。そして、今後に向けての課題、問題点がありましたか。また、その対応策はどのようにお考えですか。

2点目、タブレットパソコンを使用することで、今後どのようなことを期待してみえますか。

3点目、岐阜市としてはこれに関するソフト、ハードの整備せいびをどのように進める計画ですか。今後の整備計画についてお答えください。

**答弁 教育長**

**【答弁者： 教育長1】**

タブレットについての質問にお答えします。

1点目の、モデル校の現状です。

芥見東あくたみ ひがし小学校と藍川東あいかわ ひがし中学校をモデル校に指定し、児童生徒用40台ずつ、教師用、小学校6台、中学校10台、計96台導入し、平成26年10月よりスタートしました。

タブレットは各教科の授業で活用され、電子黒板どうよう同様、子どもたち

は抵抗なく使用しています。自分の考えを画面に映し出すことが簡単にできる、説明がわかりやすくできる、仲間の考えがはっきり見えるなど、97%の子どもがタブレットを活用した授業が楽しいと答えています。授業の中で自分たちの考えを交流し、深めていく活動において効果を発揮していることがわかります。

**【答弁者： 教育長2】**

2点目、今後への期待です。

グローバル社会、ICT社会<sup>アイシーティー</sup>にあって、タブレットを道具として自由に使いこなし、世界の最先端<sup>さいせんたん</sup>の情報にアクセスし、外国人とも論議<sup>ろんぎ</sup>できる思考力、判断力に重きが置かれる21世紀型の学力への転換<sup>てんかん</sup>が求められています。

一方で、子どもたちの学びの中心は教科授業の中にあります。学力・学習<sup>じょうきょう</sup>状況<sup>じょうきょう</sup>調査<sup>ちょうさ</sup>においても、授業の中で話し合う時間を設ける、学習<sup>きりつ</sup>規律<sup>きりつ</sup>がしっかりしている、家庭学習がしっかりできるなどと学力はかかわりがあると分かっており、よい先生の指導のもとで個性豊かな仲間と安定的に学ぶことに成果が見られます。

**【答弁者： 教育長3】**

子どもたちの学びは、仲間や先生とともに、自然の中でリアルな体験的な学びと、タブレットを活用したバーチャルな学びの両輪<sup>りょうりん</sup>で成立していくものだと考えます。次の学習指導要領で注目されているアクティブラーニングにおいては、「私にはアイデアがある」「みんなで話し合うのが好き」「ワークショップが好き」ということを言う子どもを育てていくことが大切にされています。体験を通して仲間と共に協

力して活動する力を育て、将来いろいろなことが起きても堂々と対処<sup>たいしよ</sup>できる人材を育てようということです。

**【答弁者： 教育長4】**

3点目の、今後のタブレットの計画についてです。

岐阜市教育委員会においては、今年度、全ての市立小中学校と特別<sup>とくべつ</sup>支援学校計70校にタブレット計4,100台の配備<sup>はいび</sup>を計画しております。将来的には、家庭でも使用できるよう1人1タブレットが望ま<sup>のぞ</sup>しく、自分の学習の足あとが保存された個人専用のものにできるとよいと思っております。

こうしたことに備え、まずは、教員が活用できるようになること、そして、教員養成<sup>きょういんようせい</sup>にかかわる地元の大学には、簡単なアプリがつけられる程度の技術<sup>しゅうとく</sup>の習得をお願いしているところです。